

平成 23 年度 市民生活部 経営計画書



部署名	市民生活部				
役職・氏名	部長 古武 稔				
市民生活部 経営方針					
● 部の使命	私たち市民生活部は、瀬戸内市総合計画が掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市瀬戸内」の将来像に向かい、安心して快適な生活環境の形成を進めます。また、より身近な市役所の窓口となるべく市民サービスの向上を図ります。				
● 部の基本方針	① 市民ニーズにこたえる市役所があるまちを目指して「親しみのある窓口は 挨拶から」を徹底します。 ② 環境に配慮した美しいまちを目指して「ごみの減量・循環型社会への取り組み」を推進します。 ③ 公平な課税を行い 負担感を公平なものにすべく「納税への理解を進め 滞納のないまち」を目指します。 ④ 消費者を守り育てるまちを目指して「学習会の開催・相談窓口の体制強化」を図ります。				
● 平成 23 年度 部のスローガン	「プロ意識の徹底により 職務を推進します」（課題を 先送りにしない !!）				
部署内経営資源					
構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計 2,276,803 千円 特別会計 4,421,030 千円 (444,616) 千円
	61 人	26 人	87 人		

市民生活部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況	
1 市民窓口サービスの向上 支所窓口と本庁との連絡・連携の強化	挨拶、声掛けの徹底を進めます。 本庁からの応援体制を強化します。	数値での目標設定は困難なので、窓口満足度アンケートを実施して実態把握します。	11 月 14 日～12 月 9 日まで アンケート実施中です。	アンケートは、129 人より回答有り。90%以上が満足の評価。	
2 ごみ 30 パーセント減量への施策の推進 (目標 22・23・24 年度の 3 年間で 30 パーセント減量)	市民に向けた ごみ減量の啓発を進めます。 古紙のステーション回収を具体化します。 その他プラの分別回収を方向付けします。 22 年度 実績 6.5%減量	23 年度末のごみ減量目標率 20%の減量	10 月末の実績 2.2%減量 (大苦戦中です) 古紙のステーション回収は、11 月から月 1 回 試行実施。	24 年 2 月末現在の実績 3.2%の減量 全庁的な取り組みをすすめます。	
3 税等 収納率の向上	制度面の広報に努めます。 悪質滞納者への滞納整理の取り組みを強化します。 20 年度収納率 実績 97.75% 21 年度 同 97.22% 22 年度 同 97.99%	23 年度収納率目標 98.00%	10 月末の実績 66.15%	24 年 2 月末の収納率実績 現年分 85.7% 滞納分 16.3% (決算数値は未定です)	
4 電子申告制度(エル・タックス)の啓発・利用の促進	制度の周知を図ります。 21 年度実績 22 年度実績 法人市民税 48 件 421 件 給与支払報告 100 件 748 件 同 1,178 人分 2051 人分	23 年度目標件数 法人市民税 500 件 給与支払報告 900 件	10 月末の実績、 法人 381 件、 給与・特徴 14 件、 償却資産 4 件	3 月 27 日現在 法人 497 件 給与・特徴 866 件 2447 人分、 償却資産 106 件	
5 消費者教育の学習会による啓発 消費生活相談の対応強化	被害の未然防止等の広報に努めます。 相談員の雇用により相談体制を強化します。 消費者への学習会を開催します。 学習の場に参加した市民 22 年度 実績 210 人	学習の場に参加した市民 23 年度 目標 250 人	10 月末の実績 21 回学習会を開催し、975 人参加いただいています。	相談員を雇用しました。 学習会を 27 回開催し、計 1,091 人が参加。	

人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

